

NEWS LETTER

NMOSD/MOGAD レジストリ

No.2 2024.10



2023年9月に多発性硬化症・視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）のガイドラインが6年ぶりに改訂されました。NMOSDの治療は近年大きく進歩しており、このガイドラインも過去のものとは比べて大きく変化しています。今回は治療方針の変更点についてご紹介します！

✿ 治療目標の明確化

急性期治療終了後に速やかに再発予防治療を開始し、**再発をおこさない**ようにする。再発後1年以内は再発が群発する傾向があり、かつ、再発の無い期間が長くなるほど再発率が低下することが認められており、再発後1年以内は強力な再発予防治療を行う必要性が示されている。

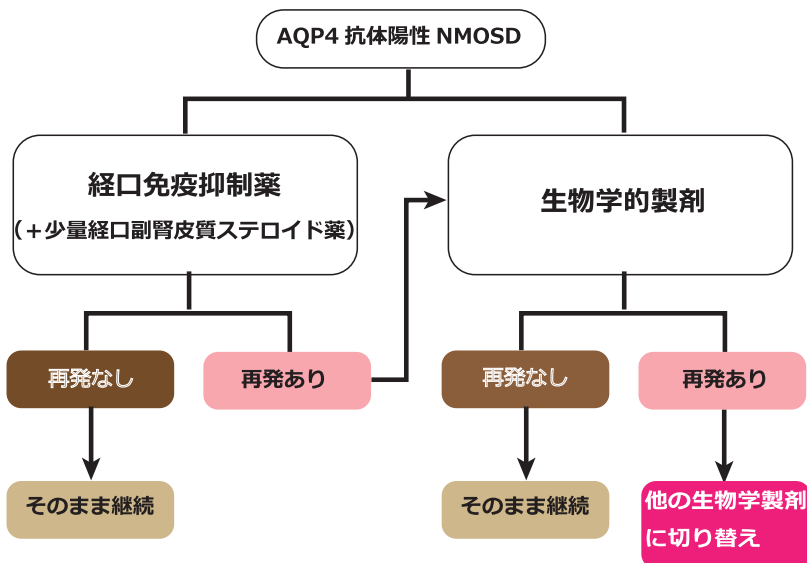
✿ ステロイドに関する考え方の変化

従来はステロイドを中心に治療していたが、ステロイドは長期服用による副作用が多いため、**なるべくステロイドを使わずに治療**することが推奨される。免疫抑制薬の安定した効果発現には数カ月を要するため、効果発現の早いステロイドを補助的に併用する。

✿ 生物学的製剤の登場

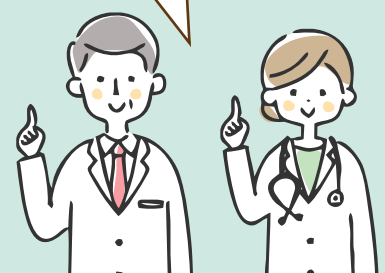
AQP4抗体陽性 NMOSD に対しては、近年、複数の生物学的製剤が認可された。生物学的製剤は、強力に再発を抑制するため、副作用を上手にコントロールできれば、非常に有効な治療手段となる。薬剤費が高額なこともあり、使用する患者については十分に検討を行う必要がある。

AQP4 抗体陽性 NMOSD の治療アルゴリズム



多発性硬化症・視神経脊髄炎スペクトラム障害診療ガイドライン 2023

既に経口免疫抑制薬や経口副腎皮質ステロイド薬の使用で再発なく安定している場合には、このアルゴリズムに従う必要はなく、即時の治療変更は不要です。



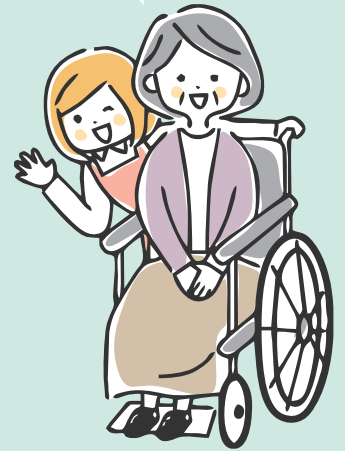
* AQP4 抗体陰性例では、生物学的製剤は使用せず、経口免疫抑制薬を中心に治療する。

よくある質問 (Q&A)



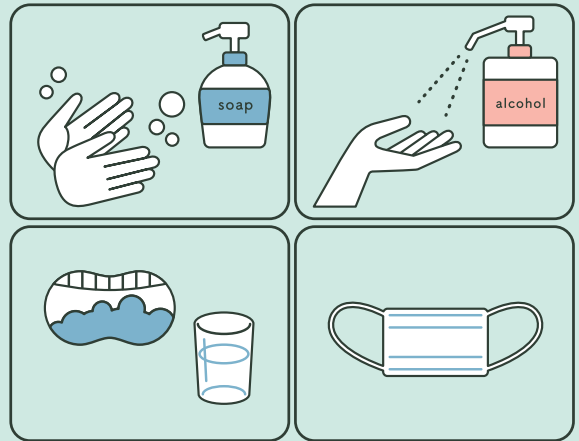
血液試料の提出は任意ですが、たくさんの血液検体が集まるほど、NMOSDの診断や治療に役立つ可能性は高まります。NMOSDは患者数が極めて少ない疾患なので、皆様のご協力が必要です

レジストリ研究に参加すると採血の量が多くて嫌なのよね



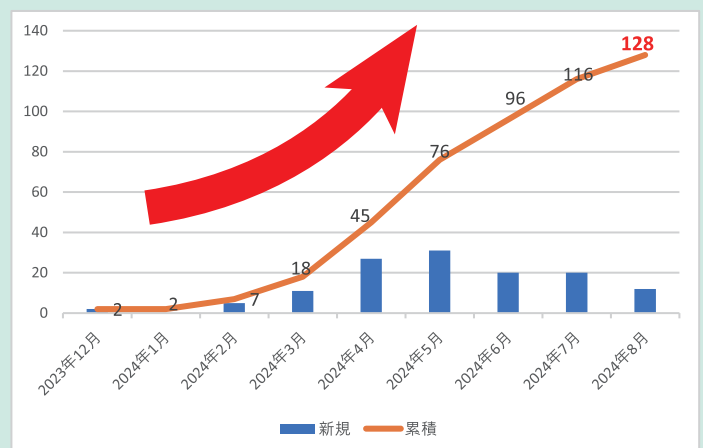
予防注射を受けよう

NMOSDの治療薬は、免疫力の低下による感染症に注意が必要です。手洗い、うがいをしっかりし、人が集まる場所ではマスクを使用しましょう。インフルエンザ等の予防接種も計画的に受けましょう。



NMOSD/MOGAD レジストリ進捗状況

こんにちは。レジストリ研究事務局の一般社団法人 kizuna です。2024年8月末現在、128名の方にご登録いただきました。たくさんのデータを蓄積し、病気のメカニズムの解明や新たな治療法の開発につなげ、患者様により効果的な治療を提供できるよう、取り組んでまいります。



レジストリホームページ URL:

<https://www.janima.org>

2次元バーコードを読み込んでいただく
ことでもアクセス可能です



お問い合わせ先

NMOSD レジストリ研究事務局

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-15

TEL 043-239-7670 Mail:info@janima.org